

主題：流通モデルの革新、成長エネルギーの励起 開講の挨拶

日時：2017年5月16日（火）8：30～9：00

会場：中国・上海虹橋錦江ホテル（元シェラトン上海虹橋ホテル）3F 宴会ホール

主催者（中国代表）挨拶

アジア太平洋地域での ウインウインの関係を

中国医薬商業協会会長

付 明仲



来賓の皆さん、おはようございます。第3回アジア・パシフィック医薬品流通フォーラムを開催するに当たり、中国医薬商業協会を代表して、日本、韓国から来られた皆様に感謝を申し上げます。

このフォーラムは日本と韓国で2回開催され、第3回の今回は上海での開催となりました。これまで、中国、日本、韓国の医薬品流通業界は今後の医薬品マーケットにおけるイノベーションに関わる問題を解決するためにディスカッションを続け、人々の福利厚生につながるように努力してきました。

今回のフォーラムは、医薬品の流通に関する価値、また今後の変化にどう対応していくのか、また、新しい認証についてどう対応していくのかについての話し合いになります。また、3か国がともにビジネスを起し、ともに構築、そしてシェアするというテーマのもとで、アジア太平洋地域でのウインウインの関係につながっていくと確信しています。

私たちはそれぞれの国の人々に安全かつ効果のある医薬品を提供していきたいと考えています。本日の会議の成功を祈っています。ありがとうございました。

日本代表挨拶

各国共通の課題の抽出と 検討に期待

日本医薬品卸売業連合会理事

中北馨介



おはようございます。本来であれば鈴木会長がご挨拶をするところですが、日本政府との会議があるためこちらに来ることができなくなりました。

日本医薬品卸売業連合会を代表して、第3回アジア・パシフィック医薬品流通フォーラムの開催に対して感謝とお礼を申し上げます。

日本は、自然災害の多い国ですが、われわれ日本の医薬品卸はその中においても迅速・安全な医薬品の流通に努めており、高い評価をいただいています。

現在、日本では少子高齢化の進展や、高額な医薬品の普及などにより医療費は増え続けており、政府はその抑制をしようとしております。そのため、医療費の削減に向け、医療制度や薬価制度の改革をめぐる活発な議論が続いています。その中で、今、議論の中心となっているのは、償還価格である薬価を2年ごとに改定していたものを、今後は毎年改定とするというものです。そのほか、市場が拡大した高額な医薬品については大幅な薬価引き下げが行われています。これらの制度変更は、日本の卸企業にとって大変厳しいものになると思っています。

各国において、医療制度や医薬品流通について

共通する点もあり、各国の共通の課題を抽出し、検討し合えるようなそんなフォーラムになればよいのではないかと考えています。この有意義な3か国フォーラムが今後も続き、各国の医薬品流通がますます発展するよう祈念しております。

先週ロンドンでIFPWの理事会が開催され、私も出席してまいりました。そこで、ワシントン総会の次の、2020年の総会が日本で開催されることが決まりました。東京で行われるオリンピック・パラリンピックと同じ年の開催になりますが、どうぞ皆様方の多くのご参加を心よりお願い申し上げます。

最後になりますが、昨日、3か国の代表者会議があり、第4回フォーラムは2020年のIFPW日本総会の前後に行うことが決定しました。さらに充実したフォーラムにしたいと思っておりますので、今後ともよろしくごお願い申し上げます。



フォーラム参加章



代表者会議の日本側出席者(左端は通訳)

世界の潮流に乗って 良い結果を導き出す

韓国医薬品流通協会会長
黄 治燁



おはようございます。私は韓国医薬品流通協会会長の黄治燁です。2013年、日本で第1回のアジア・パシフィック医薬品流通フォーラムを開催し、2015年にソウルで2回目を開催し、今回は上海で3回目の開催となります。とてもうれしく思っています。

医薬品は大変潜在力のある産業であると思われます。この医薬品産業の発展に伴って医薬品流通業界もこのチャンスをとらえ、特に韓国、日本、中国では、この業界が発展し、そして世界で占める割合も高くなっています。これはとてもいい状態です。このフォーラムに3か国の代表者が集まり、より新しいアイデアを導き、世界の潮流に乗って良い結果を導き出したいと思えます。

第3回アジア・パシフィック医薬品流通フォーラムが成功裏に開催されること、そして皆様のご健勝をお祈りします。



前日に行われた代表者会議のメンバー